

ハンドルが下がったまま戻らない!
開き戸が開かない! 開きにくい!



ラッチケース(本体)を交換したい!



STEP1 対象商品の確認方法

チェック!1 お使いのドアメーカー名
を確認してください。

通常、扉の戸尻側木口にメーカー名・
品番を記したシールが貼ってあります。



チェック!2 ハンドルの種類を確認してください。(写真は一例です)

レバーハンドル(丸座・角座)



レバーハンドル(長座)



※下記についてはお客様での交換が難しいため、セルフメンテナンス対象外です。

●レバーと台座が一体型のもの ●丸座・角座のセパレートタイプ ●長座の錠付きのもの



チェック!3 ラッチケース(扉の木口に取り付いている錠)のサイズを確認
してください。

レバーハンドル用ラッチケース		
製品年代の目安	1992~2017年	2017年~現行
対象商品	 130mm 68mm 77mm	 130mm 68mm 77mm 樹脂製

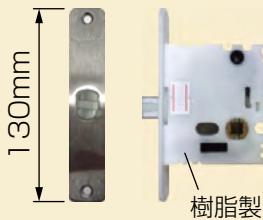
次ページへつづく⇒

STEP2 部品購入方法

部品はハイ・パーツショップにてご購入ください。

品番：MJB704022

※現在付いている部品が
金属製の場合も、樹脂製に
交換してください。



ハイ・パーツショップはこちらから [ハイ・パーツショップ](#) 検索

クリックで
WEBサイトへ

ハイ・パーツショップ

STEP3 部品交換方法

対応

ハンドルを下記の手順で取り外してから、ラッチケースを
交換してください。

※ハンドルも一緒に交換される場合は、No.6「カギが外れる！ハンドルを交換したい！」
をご覧ください。

ハンドルの種類によって、交換方法が違います。

丸座・角座ハンドルの場合



長座ハンドルの場合



STEP3-1

STEP3-2

次ページへつづく⇒

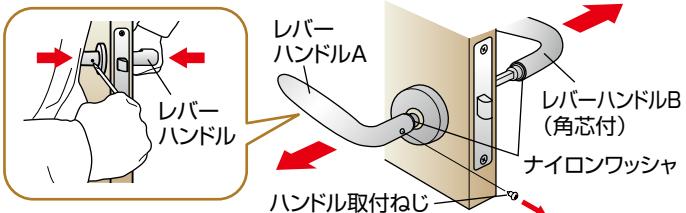
STEP3-1 部品交換方法（丸座・角座ハンドル）



1. レバーハンドルの取り外し

- ① レバーハンドルを手と腰で押さえつけて、レバーハンドルが落ちないようにする
- ② レバーハンドルの取付ねじを外す
- ③ レバーハンドルを引き抜く

※取り外しの際、ねじや部品を落とさないようにご注意ください。



2. ハンドル台座（化粧座）の取り外し

※上記「レバーハンドルの取り外しかた」でレバーハンドルを取り外してから行ってください。

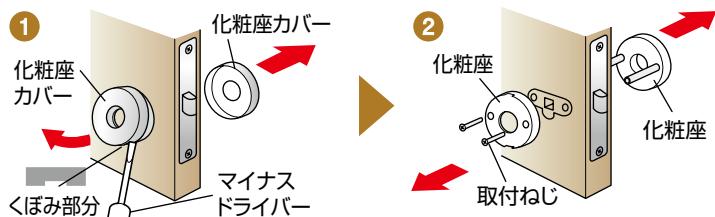
取付ねじタイプの場合（化粧座に固定ねじがあるタイプ）

- ① 化粧座取付ねじを外す
※反対側の化粧座を押さえながら、ねじを外してください。
- ② 化粧座を外す



化粧座カバータイプの場合（化粧座に固定ねじがないタイプ）

- ① 化粧座カバーの下側のくぼみにマイナスドライバーを差し込んで軽くひねるようにカバーを外す
- ② 取付ねじを外し、化粧座を外す



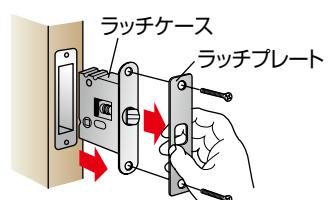
3. ラッチケースの取り外しと取り付け

取り外す前にご確認ください

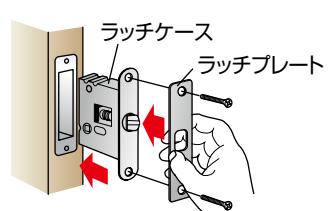
ラッチ部はドアの開き勝手によって向きが違います。どちらの向きで付いていたかがわかるように写真などを撮っておくと、取り付ける時に便利です。



- ① 古いラッチプレートを取り外し、ラッチケースを取り出す

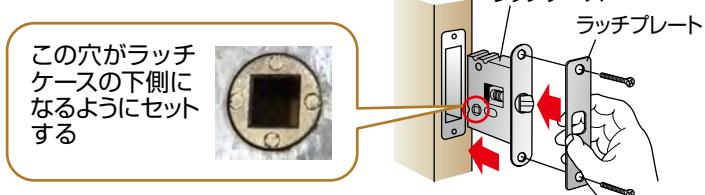


- ② 新しいラッチケースを装着し、ラッチプレートを取り付ける



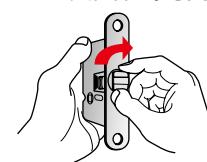
ラッチケース自体の上下にも注意してください

上下が正しければ取り付けた時にハンドルの加工穴から向こう側が遮られずに見えます。



ラッチの向きを変更する場合

ラッチ部を180度回転(時計回り)させる



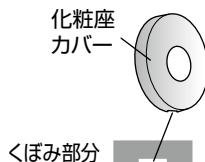
次ページへつづく⇒

4. 台座とハンドルの取り付け

準備したハンドル台座(化粧座)、レバーハンドルを逆の手順で取り付けてください。

1 化粧座を取付ねじで取り付ける

化粧座カバーはくぼみのある側が下になります。



2 ハンドルの向きを確認し、レバーハンドルB(角芯付)を扉のハンドル穴に挿入し、反対側よりレバーハンドルAをはめ込む

両側で押さえ込んで、レバーハンドルと台座にほとんどすき間がないことを確認し、確実に取り付けてください。



*イラストは表示錠です。

3 レバーハンドルの作動確認を行う

*ハンドルが固い場合は化粧座取付ねじを少しゆるめて、調整後増し締めしてください。

4 ハンドル取付ねじを締める

確実に固定するためのポイント

1 ハンドル化粧座を仮固定した後、レバー部を挿入する

2 両側からレバー部を押さえて軸芯を奥まで入れて、レバーを固定する

ハンドルを奥までしっかりと挿入した状態で取付ねじを手回しドライバーで最後まで締め付けてください。



5. 作動・施錠の確認

確認項目

- ① ハンドルにがたつきはないか?
- ② 化粧座カバーの納まりは?
- ③ 表示錠は正しく作動するか?

使用する工具



プラス
ドライバー



マイナス
ドライバー

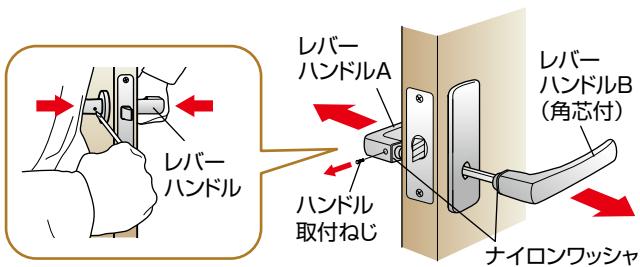
次ページへつづく⇒

STEP3-2 部品交換方法（長座ハンドル）



1. レバーハンドルの取り外し

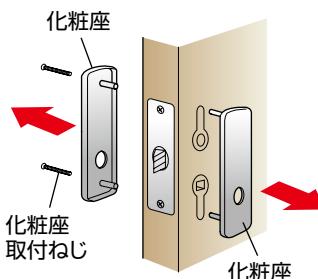
- ① レバーハンドルを手と腰で押さえつけて、レバーハンドルが落ちないようにする
- ② レバーハンドルの取付ねじを外す
- ③ レバーハンドルを引き抜く
※取り外しの際、ねじや部品を落とさないようにご注意ください。



2. ハンドル台座（化粧座）の取り外し

※上記「レバーハンドルの取り外しかた」でレバーハンドルを取り外してから行ってください。

- ① 化粧座取付ねじを外す
※反対側の化粧座を押さえながら、ねじを外してください。
- ② 化粧座を外す



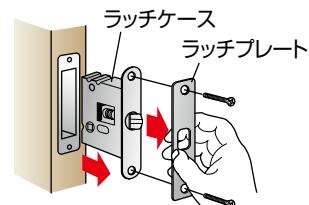
3. ラッチケースの取り外しと取り付け

取り外す前にご確認ください

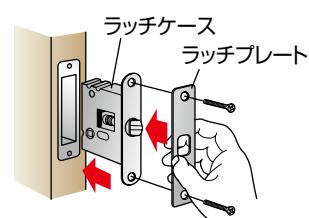
ラッチ部はドアの開き勝手によって向きが違います。どちらの向きで付いていたかがわかるように写真などを撮っておくと、取り付ける時に便利です。



- ① 古いラッチプレートを取り外し、ラッチケースを取り出す

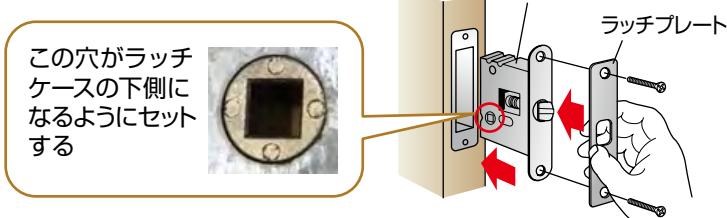


- ② 新しいラッチケースを装着し、ラッチプレートを取り付ける



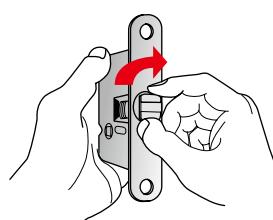
ラッチケース自体の上下にも注意してください

上下が正しければ取り付けた時にハンドルの加工穴から向こう側が遮られずに見えます。



ラッチの向きを変更する場合

ラッチ部を180度回転(時計回り)させる

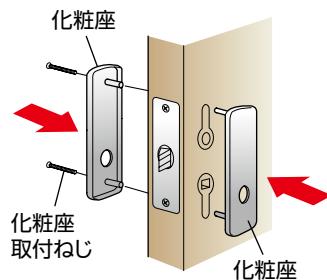


[次ページへつづく⇒](#)

4. 台座とハンドルの取り付け

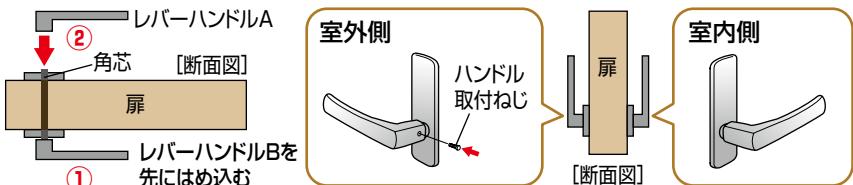
準備したハンドル台座（化粧座）、レバーハンドルを逆の手順で取り付けてください。

① 化粧座を取付ねじで取り付ける



② ハンドルの向きを確認し、レバーハンドルB（角芯付）を扉のハンドル穴に挿入し、反対側よりレバーハンドルAをはめ込む

両側で押さえ込んで、レバーハンドルと台座にほとんどすき間がないことを確認し、確実に取り付けてください。



③ レバーハンドルの作動確認を行う

※ハンドルが固い場合は化粧座取付ねじを少しゆるめて、調整後増し締めしてください。

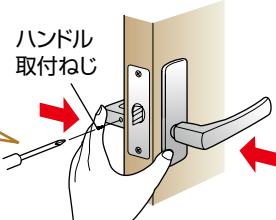
④ ハンドル取付ねじを締める

確実に固定するためのポイント

① ハンドル化粧座を仮固定した後、レバー部を挿入する

② 両側からレバー部を押さえて軸芯を奥まで入れて、レバーを固定する

ハンドルを奥までしっかりと挿入した状態で取付ねじを手回しドライバーで最後まで締め付けてください。



5. 作動・施錠の確認

確認項目

- ① ハンドルにがたつきはないか？
- ② 化粧座カバーの納まりは？
- ③ 表示錠は正しく作動するか？

使用する工具



プラス
ドライバー



マイナス
ドライバー